

CONTENTS

* 連携型共同研究成果報告会

* カモミール月曆

* セミナー報告

* OPENeD

東海・北陸ブロック会議

 文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」

連携型共同研究成果報告会

2019・2020年度に採択された連携型共同研究の成果報告会をオンライン開催します。

本事業は、民間企業、地方自治体、他大学などとのアカデミックな交流を深め、女性研究者の活躍による地域活性化をめざす取り組みです。ご関心をお持ちの方は、どなたでも参加可能です。

日 時： 2021年2月22日（月） 13：30～16：45

第1グループ 13：35～15：00

- 課題 1 腸内細菌叢培養に関する基礎研究2～GAM培地の改良～
- 課題 2 蜜源植物の異なるハチミツの腸内有用細菌に対する作用の評価
- 課題 3 ブラジル産グリーンプロポリスのマウス海馬由来細胞における小胞体ストレスに対する作用の解明
- 課題 4 統合失調症の病態とテロメア長との関連に関する研究
- 課題 5 脊髄損傷の他家移植療法を目指したヒト歯髄細胞の規格化：mRNA前駆体開裂因子Iの分子マーカーとしての可能性の検討
- 課題 6 子宮頸がん治療法の向上を目指すがん治療増感剤の開発研究
- 課題 7 非環式レチノイドの¹¹C標識化と脳移行機構の解明

第2グループ 15：10～16：35

- 課題 8 概日リズムの制御を基盤原理とした大豆モヤシの品質変化メカニズム解明とその利用
- 課題 9 ワサビの味の客観的評価方法の確立
- 課題 10 簡単でおいしいグルテンフリー米粉パンの開発ー岐阜大パンの完成に向けてー
- 課題 11 岐阜県の小学校英語教育の現状と課題に関する研究
- 課題 12 教育実践の「知の増殖のサイクル」の究明
- 課題 13 家政学からみた防災のあり方ー学生の意識調査よりー
- 課題 14 災害アーカイブぎふの公開と活用の展開

申込締切
2月15日



参加申し込み
Click or Scan

詳細は、男女共同参画推進室WEB <https://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/> をご覧ください。

【お問い合わせ】 岐阜大学男女共同参画推進室 メール：sankaku@gifu-u.ac.jp 電話：058-293-3397

カモミール月曆 (室長からのメッセージ)



副学長(多様性・人権・図書館担当) 林 正子

東海国立大学機構ウェビナー 紹介 (その2)

LGBT等フレンドリーな環境の構築を目指して

～多様な性を生きる学生や教職員に寄り添うために大切なことを学ぶ～

2020年12月25日(金) 標題のウェビナー(主催:東海国立大学機構 後援:全国ダイバーシティネットワーク組織 東海・北陸ブロック)がZoom形式で開催されました。さまざまな個性を有する構成員(学生・教職員)すべてが尊重されることを「使命」として掲げている名古屋大学は、「LGBT等の性的個性についても同様に尊重され、その能力が存分に発揮できる教育・研究・就業環境の整備に取り組むとともに、理解を深めるための啓発活動を積極的に実施」することを趣旨として、「LGBT等に関する名古屋大学の基本理念と対応ガイドライン」(2018年5月) http://www.nagoya-u.ac.jp/about-nu/upload_images/20180822_lgbt.pdf を策定しています。一方、岐阜大学では、LGBT等の当事者を取り巻く課題への対応として、医学系研究科、看護学科、附属病院、保健管理センターの教職員による専門的見地からの堅実な活動はあるものの、全学としては進んでいないことから、このウェビナーへの参加によって、「多様な性を生きる学生や教職員に寄り添うために大切なことを学ぶ」ことをめざしました。

基調講演

名古屋大学医学部附属病院 松尾かずな 助教

「性の多様性を学ぶ——多様な性を生きる学生や教職員に寄り添うために——」

松尾先生による基調講演は、Lesbian(女性同性愛者)、Gay(男性同性愛者)、Bisexual(両性愛者)、Transgender(性別越境者)、および Questioning(自身の性自認・性指向が不定の立場)、Queer(性的少数者の総称)も含めて「等」と表記される用語の解説から始められ、泌尿器科の医師ならではの専門的知見にもとづく貴重な情報提供や提言がなされました。

LGBT等の環境整備がなぜ必要か、重要な理由のひとつとして、自殺者数の増加が挙げられました。大阪の自殺未遂率に関する2009年の街頭調査および2019年の無作為抽出調査によれば、自殺未遂率が同性愛・非トランスの人々と比べて、LGBの人々は6倍も高く、Tの人々は10倍も高いという衝撃的な数字が紹介されました。他の人に知らせていない性的指向や性同一性等の秘密を、本人の了解を得ずに暴露する行動「**アウティング**」によって、カミングアウトしたGの人々の自殺未遂リスクが高まること、小中高校におけるLGBT等に関するいじめが命にかかわる深刻な問題であることも、併せて指摘されました。Tの人々においては、職場や学校のトイレ利用で困惑しストレスを感じるケースが6割を超え、10代の2割以上がトイレ使用を我慢していること、また、学生の場合には就職活動で性役割を演じるのが苦痛であることなど、次世代育成能力 **Generativity**(心理学者のエリック・エリクソンが成人期に獲得すべき発達課題として挙げた人間的性質のひとつ)の課題が、短期間で一気に悪化するという事例も挙げられました。

松尾医師の専門的知見にもとづく講演の圧巻は、「性別の多様性」「生物学的・社会的・文化的な性別」「性の発達段階」「ゲイと医療」「性同一性障害の診療と社会」等々、LGBT等の課題や対応についての当事者や身近な人々に対する具体的なメッセージでした。LGBT等の当事者に寄り添う人たち「**アライ**」(Ally は仲間・同盟の意味)についても紹介があり、当事者がありのままの自分でいることに対する支援の重要性が述べられました。社会がその存在を認めるようになったものの、多くの偏見や差別等が絶えないLGBT等をめぐる課題——男・女という単純な分け方だけでは律しきれない問題にどのように対応してゆくのかわ、当事者が抱える大きな不安や苦悩にどのように向き合っていくべきなのか、現実から目をそらすことなく、大学全体、社会全体で取り組んでいく課題であることが改めて認識された貴重な講演でした。

名古屋大学 セクマイサークル「雨上がりのシャボン玉」の活動

同ウェビナーでは、名古屋大学「セクマイ」Sexual Minorityの学生サークル「雨上がりのしゃぼん玉」の活動も紹介されました。東海地方の大学生を中心に、高校生から社会人まで幅広い年代の多様なメンバーが参加して、LGBT等関連の話題から学業・趣味等々、さまざまな話題で交流を持っているとのこと。自分が呼ばれたい名前前で参加する、カミングアウトを強制しない、アウティングを防止するなどのルールのもと、当事者と理解者が緩やかとはいえ確かなかたちで繋がっているとのことでした。

しかしながら、昨年度以降コロナ禍はそのような交流に多大の影響を及ぼし、会合のオンライン開催やビデオチャット等も困難な状況下にあるため、「自分の思う自分のまま素直にいられる場所」を取り戻したいと願い、「雨玉活動」を紹介してくれたAさんからは、「当事者の悩みへの思いやりのある想像をしてほしい」、「あらゆる人々が自分自身を心身ともに大切にしてほしい」というメッセージが送られました。松尾かずな先生の基調講演と響き合い、Aさんの言葉はウェビナー視聴者にしっかりと届いたことと思います。

LGBT等をめぐる課題についても、岐阜大学が名古屋大学の先進的力からの取り組みから多くを学び、すべての構成員一人ひとりが尊重される大学となることを祈念しています。「LGBT等に関する岐阜大学の基本理念と対応ガイドライン」の策定はこれからですが、看護学科の井關敦子 教授からお送りいただいたリーフレット「LGBTと医療・看護の基礎知識」 <http://www.med.gifu-u.ac.jp/nur/docs/lgt-keihatsu1.pdf> を大いに参考にさせていただければ幸いです。

セミナー報告

リケジョのためのキャリアセミナー ～女性技術者の先輩に聞く～

男女共同参画推進室 特任助教
落合 絵美

1月29日（金）、国立大学法人 東海国立大学機構 航空宇宙生産技術開発センター主催「リケジョのためのキャリアセミナー～女性技術者の先輩に聞く～」(共催：岐阜大学 男女共同参画推進室、岐阜大学 工学部)がオンライン開催され、落合が司会を担当しました。

セミナーは2部構成となっており、第1部は「先輩 体験を語る」と題して、旭金属工業、デンソー、オンダ製作所の女性技術者3名が登壇し、担当業務の説明や学生時代から現在に至るまでのキャリア形成などについて、スライド資料を用いながらおひとりにつき約15分間ご講演くださいました。

第2部では「自分のキャリアを振り返り、『昔と今』を語る」と題して、オンダ製作所から2名、エクシールから1名、合計3名の女性技術者が現在の勤務先に就職した理由や業務内容などについて5分ずつご紹介くださいました。

質疑応答の時間には、「技術者として勤務されるなかで学生時代に抱いていた『技術者』のイメージと違う点はありましたか?」「お仕事をするなかでどんなときに『達成感』を感じますか?」などの質問が寄せられ、登壇者の方々はそれぞれの質問に対して真摯にご回答くださいました。










また、オンダ製作所の女性技術者3名が岐阜大学工学部出身だったことから、学生時代の研究内容や就職に至るまでの経緯など、オンライン参加する岐阜大学生・大学院生にとって身近かつ具体的なお話を伺うことができました。

今年度のセミナー開催にあたっては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からオンライン（Zoomウェビナー）にて実施し、岐阜大学工学部に所属する大学生・大学院生など合計50名がオンライン参加しました。なお、当日のセミナー動画は、岐阜大学関係者および航空宇宙生産技術開発センター主催「宇宙工学講座」を受講する高校生を対象に近日中に配信される予定です。ご関心のある方はぜひご視聴ください。

リケジョのためのキャリアセミナー
～女性技術者の先輩に聞く～

■日時：2021年1月29日（金）14:00-15:30（録播18:30）
■対象：工学部所属の学部生、大学院生（専攻が不明OK）
■会場：岐阜大学 航空宇宙生産技術開発センター（二階セミナールーム）
■主催：東海国立大学機構 航空宇宙生産技術開発センター
■共催：岐阜大学工学部、男女共同参画推進室
■司会：男女共同参画推進室 特任助教 落合絵美
■出席：企業OG、在校生（岐阜大学工学部）

企業で活躍する先輩の体験から学ぶ!!
■当日の予定（オンライン参加）
【先着体験招待券】14:00-15:00

オンダ製作所	業務が変化し続ける状況の認識、認識等、数回分限りの講義各5分	
旭金属工業	立ち上げ期間業務について語る	
高松製作所	岐阜大学 工学部 応用化学科 卒業 勤務年数10年	
デンソー	大学が集約化してキャリアを実現するための経験談（ワーク）の解説	
田舎の女子大	企業から大学へ 航空宇宙工学 修士課程 機械工学専攻 修了	
7/7卒業生	勤務年数15年	
航空宇宙工学	航空宇宙工学の発展を期待している、最新の生産技術のベテラン	
航空宇宙工学	航空宇宙工学専攻	
生産管理科	岐阜大学 工学部 卒業 勤務年数17年	

企業OG：自分の学生生活について「語らう」話せる（無料）
【質疑応答】15:00-15:30（オンライン）
■セミナー参加のメリット
企業で活躍する先輩から「リケジョ」の現実と企業生活に役立つ情報を得る。
遠方で活躍する先輩から、仕事の内容や、必読の勉強の仕方など、自分で学ぶのが難しいことも、
聞いてわかる/聞き込み先 航空宇宙生産技術開発センター (t_soki@ifu-u.ac.jp)

申し込み期限：2021年1月29日（金）1月29日（月）
■事前復習をお勧めします。1月28日～1/29日（土）の講座の録播
名古屋工業大学主催「女性が拓く工学の未来」・・・岐阜大学協力
URL: <https://akimachy.web.nitech.ac.jp/seminar.html>



OPENeD 東海・北陸ブロック会議



コロナ禍のジェンダー平等 ～研究者とケア役割～

1月27日（水）、全国ダイバーシティネットワーク組織 東海・北陸ブロック会議が開催（オンライン）されました。

前半では、東海・北陸ブロック参画機関のうち文部科学省女性研究者支援事業採択校（10大学）による事業紹介が行われ、岐阜大学は2015年度に代表機関として採択された「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」について、林 正子 副学長が主な取組内容や成果を説明しました。活動報告した10大学はそれぞれ専門分野や地域特性に基づいて多彩な女性研究者支援活動を展開しており、他機関の取組は岐阜大学にとって参考事例（グッドプラクティス）になるとともに、大学相互の更なる交流促進につながる貴重な機会となりました。

東海・北陸ブロックでは、「総合大学系」「医学系」「工学系」の下部グループが組織されており、参画機関はいずれかのグループに参画しています。前半の10大学による事業紹介に続いて、後半では総合大学系グループ企画ウェビナー「コロナ禍とジェンダー平等」を開催しました。

静岡大学の笹原 恵 副学長（ダイバーシティ推進担当）の司会のもと、名古屋大学男女共同参画センターの三枝 真由美 准教授、岐阜大学男女共同参画推進室の落合 絵美 特任助教がそれぞれ報告をおこないました。

名古屋大学の三枝 真由美 准教授は、「コロナ禍でのジェンダー平等を考える」と題して、緊急事態宣言による一斉休校に伴い女性は男性に比べて家事・育児負担が増加し、結果として研究成果の男女差につながっている状況について、国内外の調査結果を示しながら指摘しました。

岐阜大学の落合 絵美 特任助教は、「コロナ禍のジェンダー平等—研究者とケア役割—」と題して、4月の非常事態宣言（岐阜県）以降の岐阜大学における教育・研究および学内保育園の状況について説明したあと、全国ダイバーシティネットワークが2019年に実施した研究者アンケートの調査結果を紹介し、女性は男性に比べて学位取得後の「研究中断期間あり」の割合が高く（男性13.5%、女性37.8%）、その理由として「育児」と回答した割合が高くなっており（男性1.4%、女性24.9%）、育児負担が女性研究者のキャリア形成に大きな影響を及ぼしていることを指摘しました。

全国ダイバーシティネットワーク（OPENeD）

男女共同参画社会や多様な個性・能力が尊重されるインクルーシブな社会の実現のために、文部科学省と連携して、大学や研究機関、企業等における女性研究者の育成や研究環境・研究力の向上を目指す諸機関をつなぎ、国内外の取組動向や参考事例（グッドプラクティス）を収集・公開し、全国的な普及・展開を図る組織（OPENeDホームページより）。岐阜大学は東海・北陸ブロックに参画しています。

女性研究者と出産・育児

全国ダイバーシティネットワーク「研究に関する男女共同参画・ダイバーシティの推進状況に関するアンケート」調査結果（2019年）

回答数8,796名（内訳：男性5,264名、女性3,411名、回答なし121名） <https://www.opened.network/questionary/questionary-0003/>

- 学位取得後の研究中断期間ありの割合
男性13.5% 女性37.8% 回答なし28.1%
- 研究中断の理由
「育児のために研究中断」した研究者の割合は男性1.4%に対して、女性では24.9%（4人に1人）を占める。
- 家庭（家事、育児、介護等）時間（平日）
0時間 男性9.6% 女性2.1%
1時間 男性26.7% 女性12.7%
3時間以上 男性39.1% 女性64.7%



女性研究者は男性研究者に比べて日常的に、またキャリア形成の面でもケア負担が大きく影響。



岐阜大学男女共同参画推進室（管理部人事務課（男女共同参画推進事務室）） URL：<https://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/>
〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 TEL：058-293-3397 FAX：058-293-3396 E-mail：sankaku@gifu-u.ac.jp

*男女共同参画に関するご意見・ご要望は、男女共同参画推進室にお願いします。